

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 杉本 昭則	施策コード	11	10
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	生涯学習課、文化財・博物館課			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
			人・地域	ふるさとの歴史・文化の発信と継承		北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承		-
		人・地域	ふるさとの歴史・文化の発信と継承		生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興		文化会館入館者数	
	北海道創生総合戦略		A4111	北海道強靱化計画	-	新・北海道ビジョン	C08101	
	特定分野別計画等	北海道教育推進計画						
現状と課題	<p>・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の継承・保存が急がれる状況にある。</p> <p>・個性豊かな土偶や漆工芸を生み出した北海道と北東北3県(青森・秋田・岩手)に所在する縄文遺跡群について、世界遺産への登録が期待されている。</p> <p>・近年、人々の生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待が高まっている。</p>			施策目標	<p>・有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進する。</p> <p>・国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ世界文化遺産への登録に向けた取組を推進する。</p> <p>・すべての道民が生涯を通じて文化に親しむことのできる環境づくりを進めるため、市町村や関係機関と連携しながら、芸術文化活動へ参加する機会や芸術鑑賞などの文化に触れる機会などの充実を図る。</p> <p>・地域における文化活動を促進するため、若手芸術家などの活動支援や地域の文化活動を支える人材の育成に取り組む。</p> <p>・文化財の調査・保存・活用を推進するとともに、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信に取り組む。</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【芸術文化の振興】</p> <p>[道] 美術館がないへき地等での鑑賞の機会や子ども達の鑑賞の機会を提供、学校の長期休業中の芸術体験事業の実施、美術体験充実事業の実施など</p> <p>【文化財の保存・活用】</p> <p>[国] 「教育・文化週間」の一環として広報活動や行事を集中的に実施</p> <p>[道] 文化財パトロール、未指定文化財の調査と指定・登録の推進等、文化財保護強調月間における文化財公開関連事業、子どもの民俗芸能振興事業、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信など</p>					施策の予算額		
					H27	553,467		
					H28	546,102		
今年度の主な取組	<p>芸術文化活動の促進、芸術鑑賞等広く芸術文化に接する機会の充実、芸術文化環境の充実</p> <p>文化財の調査・保存・活用の推進、アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進、世界遺産登録へ向けた取組の推進、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信</p>							

# Do & Check 施策評価

## 1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
		実績と成果等	総合戦略	強靱化
・高等学校文化部活動への外部指導者を140校、192部へ派遣し、学校における文化部活動への支援を行ったほか、北海道巡回小劇場を34市町村で開催、8,779名が鑑賞し学校における文化芸術体験の充実を図った。		-	-	-
・美術館のない市町村での移動美術館を2町で開催し、2,151名が入館したほか、美術館と学校が連携した教育普及事業として15校において出張アート教室を開催した。		-	-	-
・文化財パトロールを年間389件実施したほか、道指定無形民俗文化財(松前神楽)の国指定に向けた学術調査を実施し、文化財の保存・活用の推進を図った。		-	-	-
・叙情詩「ユーカーラ」の翻訳整理と報告書を作成し、アイヌ関係団体、大学、図書館、博物館等へ配布したほか、伝承者養成のための各種講座を132回開催しアイヌ民族文化財の保存・伝承活動の推進を図った。		-	-	-
・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた機運を醸成するためのフォーラム・パネル展を4回開催したほか、「北の縄文道民会議」と連携した札幌地下歩行空間や道庁赤レンガ庁舎での企画展やセミナーを開催し世界遺産登録に向けた取組を行った。		A4111	-	C08101
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	・世界遺産登録推進議員連盟から文科大臣及び文化庁長官にH28年度の世界遺産登録の推薦を要望 (平成28年4月)	施策に関する道民ニーズ	・北海道文化財保護審議会を2回開催(平成27年9月25日、平成28年3月23日)しており、委員(学識経験者)から屯田兵関連の資料について道指定有形文化財候補として調査を進めるべきなどの意見をいただき、教育分野における文化活動の振興に係る施策に反映させている。	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
	・「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、関係部と連携しアイヌ文化の保存・伝承・振興等に取り組む。 ・「アイヌ施策推進連絡会議」に参画し、アイヌ文化関連の取組等について情報交換を行う。	N0313	環境生活部アイヌ政策推進室	・H27.8に道教委委託事業「アイヌ民俗文化財伝承・活用事業」の会議に道環境生活部アイヌ政策推進室職員及び道教育庁文化財・博物館課職員がオブザーバーとして出席し、アイヌ文化の振興等の取組の推進について連携が図られた。
	・道が設置する北海道文化審議会に出席するほか、情報交換を密にし、連携して芸術文化活動の促進等に取り組む。 ・道教委職員を文化振興課縄文世界遺産推進室に併任し、世界遺産登録に向け、推薦書案の作成、縄文文化に関するパネルや出土品展示などに取り組む。	N0314	環境生活部文化振興課	・北海道文化審議会に出席し、道教委の文化振興施策の概要について説明するなどし芸術文化活動の促進に向け情報共有を図った。(H27.5.14、H27.8.18、H28.8.23の3回出席)
	・北海道150年事業ワーキングチームに参加し、関係部との情報共有を図るとともに、事業の推進に協力する。	N0214	総合政策部政策局	・北海道150年事業に向けた会議等に参加し、事業の今後の進め方等について意見を交換するなどして事業の推進に向けて連携が図られた。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	-	評価年度	-	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37					
文化会館入館者数(万人)		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37	-	-	-	-	当該指標は、3年毎に文部科学省が調査しており、平成26年度の調査結果は平成29年3月頃に公表予定。このため、平成32年に公表される平成29年度の調査結果に基づき達成度を分析する。
		基準値	46	目標値	46.0	最終目標値	50.0					
〔指標の説明〕 芸術・文化活動への道民の参加状況を表す一つの目安(3年毎の文部科学省の調査)	根拠計画	増減方向		達成率の算式		-	-	-	-	-	-	
		北海道総合計画		増加								
		達成度合		年度	H27	H28	進捗率					
		目標値	46.0	46.0	50.0							
		実績値	-	-	-							
		達成率	-	-	-							

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年度	H28	最終年度	H29					
道立美術館・芸術館等の入館者数		基準年度	H23	年度	H28	最終年度	H29	B	-	-	-	概ね目標に達しているが、引き続き、集客力のある展覧会事業などの入館者数を増やす取組を進める必要がある。
		基準値	663,022	目標値	700,000	最終目標値	700,000					
〔指標の説明〕 1年間の道立美術館・芸術館・道立文学館の展覧会事業などの入館者数	根拠計画	増減方向		達成率の算式		-	-	-	-	-	-	
		北海道教育推進計画		増加								
		達成度合		年度	H27	H28	進捗率					
		目標値	700,000	700,000	700,000							
		実績値	631,030	-	631,030							
		達成率	90.1%	-	90.1%							

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H29					
文化財への保存・活用への取組状況		基準年度	H24	年度	H28	最終年度	H29	A	-	-	-	目標指数は達成したが、事業未実施の市町村に対しては啓発強化が必要である。
		基準値	33.1	目標値	49.0	最終目標値	50.0					
〔指標の説明〕 北海道文化財保護強調月間(10/8~11/7)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		-	-	-	-	-	-	
		北海道教育推進計画		増加								
		達成度合		年度	H27	H28	進捗率					
		目標値	48.0	49.0	50.0							
		実績値	52.4	-	52.4							
		達成率	109.2%	-	104.8%							

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H29					
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H29	D	-	-	-	H27年度の参加者数は、地域の方への周知が不足していたこと等により低調であった。H28年度は会場数が減少するため、1講座当たりの参加者数を増やす取組を進める必要がある。
		基準値	1,381	目標値	2,200	最終目標値	2,500					
〔指標の説明〕 道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	根拠計画	増減方向		達成率の算式		-	-	-	-	-	-	
		北海道教育推進計画		増加								
		達成度合		年度	H27	H28	進捗率					
		目標値	1,900	2,200	2,500							
		実績値	1,403	-	1,403							
		達成率	73.8%	-	56.1%							

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
	主要指標					1	
関連指標		1	1		1		課題あり





5 一次評価結果

評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	<p>&lt;文化会館入館者数(万人)[-]&gt;                      ・当該指標は、3年毎に文部科学省が調査しており、平成26年度の調査結果は平成29年3月頃に公表予定。このため、平成28年度の達成度合の分析は困難であり、平成32年に公表される平成29年度の調査結果に基づき達成度を分析する。</p>	<p>&lt;施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか&gt;                      ・有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続した調査を実施するとともに、保存・伝承活動を推進するための有効な取組を推進していることが認められる。                      ・すべての道民が生涯を通じて文化に親しむことのできる環境づくりを進めるための効果的な取組を推進していることが認められる。                      ・文化財の調査・保存・活用を推進するとともに、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信を進めるための効果的な取組を推進していることが認められる。</p>	+ 評価
関連指標	<p>課題あり</p> <p>&lt;道立美術館・芸術館等の入館者数[B]&gt;                      ・出張アート教室や大学生との連携による学生の美術館の利用促進に向けた働きかけ、民間企業と連携した「ミギシ・サテライト」など様々な入館者増に向けた取組を行っており、概ね目標を達成した。</p> <p>&lt;文化財の保存・活用への取組状況[A]&gt;                      ・文化財保護強調月間における文化財公開等関連事業を促進したことにより目標は達成したが、事業未実施の市町村に対しては、引き続き啓発を行っていく必要がある。</p> <p>&lt;アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数[D]&gt;                      ・指標の達成度合が低くなっていることから、1講座当たりの参加者数を増やす取組を進める必要がある。</p>	<p>&lt;道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか&gt;                      ・美術館等や指定文化財、アイヌ文化財、埋蔵文化財などに係る施策全般について、北海道文化審議会において報告し、有識者からの意見を踏まえ施策の改善に役立てていると認められる。</p> <p>&lt;施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか&gt;                      ・「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、アイヌ文化の保存・伝承・振興等について、関係部と情報交換を行い連携の成果が確認できる。                      ・道が設置する北海道文化審議会に出席し、道教委の施策について説明するなどして情報を共有し芸術文化活動の促進に努めていると認められる。                      ・北海道150年事業ワーキングチームに参加しており、事業の推進に向け関係部と連携が図られていると認められる。</p>	

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部に改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)		(関連する計画等)		
方針	課題と方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	入館者増に向け、道立美術館と道内各地域の美術館等が、連携協定やネットワーク化を進め、道内美術館等の活性化と作品の活用、若手作家等の活動の場や機会の拡充、三岸好太郎美術館の利活用の促進などに取り組む。	-	-	-
	入館者増に向け、道立美術館等の所蔵する作品を活用した鑑賞学習用支援ツール(学習展開例、教材、評価シート)を作成し、近隣に美術館が無いへき地の学校等で鑑賞の授業ができる機会を提供する。児童生徒が美術を愛好する心情を育てるとともに、道内美術館等の活性化と作品の活用に取り組む。	-	-	-
	文化財保護強調月間における関連事業について、未実施の市町村があることから、文書・ポスターによる啓発に加え、未実施市町村には、教育局を通じて直接働きかけを行う。また、アイヌ文化にかかわる講座等の参加者数を増やす取組が必要な状況であり、参加者募集に係る周知方法について、地域でのチラシ配布に加え、ホームページ等、多様な媒体により行う。	-	-	-

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11	10
-----	--------------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】 目標達成に遅れが見られる「アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動」の促進に向け、関係部局と連携し、講座等の内容充実や周知方法の改善を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。
------	---



平成28年度 基本評価調書

施策名	教育分野における文化・芸術活動の振興	施策コード	11	10
-----	--------------------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価（平成29年度の方向性）（再掲）							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業（整理番号）	終期なし	推進事項								
11054000	児童生徒文化活動奨励事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11054100	高等学校文化活動推進費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11102400	青少年芸術劇場費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11102600	小規模市町村等教育活動支援事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11110200	美術館維持運営費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11110300	美術館事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11110499	博物館登録等博物館事務、学芸員資格・講習会等事務					-	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11110500	文化財保存対策費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11110600	遺跡埋蔵文化財保存対策費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11110700	アイヌ文化財保存対策費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11110800	文化財保護活動費補助金					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11110900	埋蔵文化財情報システム維持管理費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11111099	世界遺産登録へ向けた取組の推進					-	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11111199	文化財に親しむ機会の提供と情報の発信					-	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11111200	ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業費					継続（拡充）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11112199	日本遺産認定に向けた取組の推進					-	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11	10
-----	--------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<p>&lt;新たな取組等&gt; H29年度中に北海道全体がアートの舞台となる「アートギャラリー北海道構想」の策定に取り組む。</p> <p>&lt;組織体制等の見直し&gt; 「アートギャラリー北海道」構想の策定及び関連施策の推進のため、組織体制を見直し1名増員する。</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; 鑑賞学習用支援ツール(教材、学習展開例、ワークシート等)を完成させ、全道の小中学校へ配布し美術を愛好する心情の育成を図る。</p>
	<p>&lt;新たな取組等&gt; ・文化財保護強調月間について、道庁ブログ及びニュースター「文化財まる知ナビ」に記事を掲載するほか、引き続き、関連事業未実施市町村に対し、教育局を通じて直接働きかけを行う。 ・アイヌ文化にかかわる講座については、二次評価結果への主な対応と同じ。</p>

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】	平成29年度の講座実施に当たり、初心者から中級者まで幅広いレベルの参加者が段階に応じて取り組める講座内容とする。また、講座の周知方法は、チラシ配布に加え、講座会場が所在する市町村広報への記事掲載、報道機関への情報提供、環境生活部など関係機関のHPへリンク貼付するなどして講座の周知を図る。		

平成28年度 基本評価調書

施策名	教育分野における文化・芸術活動の振興	施策コード	11	10
-----	--------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	事業	事業	8 事業	8 事業	事業	事業	事業	16 事業
反映結果	事業	事業	8 事業	8 事業	事業	事業	事業	16 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
2 事業